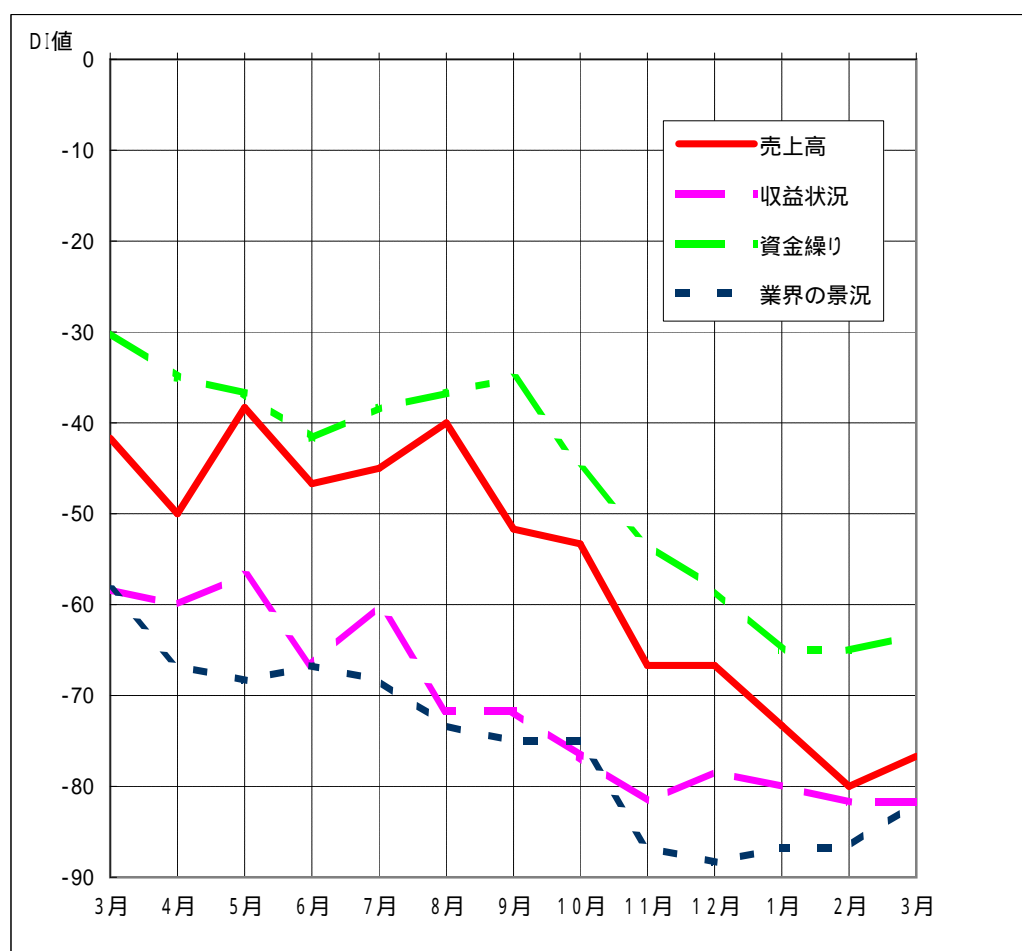


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成20年3月～平成21年3月

単位:ポイント



	H20						H21						
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上高	-41.7	-50.0	-38.3	-46.7	-45.0	-40.0	-51.7	-53.3	-66.7	-66.7	-73.3	-80.0	-76.7
収益状況	-58.3	-60.0	-56.7	-66.7	-60.0	-71.7	-71.7	-76.7	-81.7	-78.3	-80.0	-81.7	-81.7
資金繰り	-30.0	-35.0	-36.7	-41.7	-38.3	-36.7	-35.0	-45.0	-53.3	-58.3	-65.0	-65.0	-63.3
業界の景況	-58.3	-66.7	-68.3	-66.7	-68.3	-73.3	-75.0	-75.0	-86.7	-88.3	-86.7	-86.7	-81.7

世界的に厳しい経済状況が続いている中、全調査項目において前年度より悪化した。前年度よりも、「売上高」DI値 - 35ポイント、「収益状況」DI値 - 23.4ポイント、「資金繰り」DI値 - 33.3ポイントと減少し、「業界の景況」DI値も - 23.4ポイントと後退した。ETC特別割引など、行政が経済対策を行っているが、なかなか成果が数値には表れてこない状況である。

組合の特記事項からは、一部鉱業、小売業では、駅周辺の再開発事業、ETC特別割引などによる行政側の事業、経済対策効果も見られるが、多くの企業は依然として厳しい状況に置かれている。製造業は受注数が大幅に減少しており、雇用調整助成金の適用を現在受けている、または導入を検討している企業が増加傾向にあり、各企業とも雇用の維持に苦心している様子が垣間見える。